大和田小と 16 号線の交差点の満開のさつき

八王子市立第四・第十・大和田小学校

放課後子ども教室　囲碁教室だより

56 号　2021 年５月

編集　成田　滋　shigerunarita@gmail.com
ブログ　https://naritas.jp/wp1/
八王子囲碁連盟　https://hachigoren.com

◆５月の放課後子ども囲碁教室の日程です

- **第四小学校**：５月 10 日、17 日、24 日、31 日(月曜日) 2:30pm　三階 ひらめき教室
- **第十小学校**：５月 14 日、21 日(金曜日) 2:30pm　一階 家庭科室
- **大和田小学校**：５月 12 日、19 日、26 日(水曜日) 2:30pm　二階 第２音楽室

◆『子どもと学びあい、読書を』

多くの子ども達が塾通いをしています。今の学校は、子どもに学年相応の学力がつこうが、つくまいが、ところてんのように進級させます。授業の内容が易しすぎて面白くなくても、難しくてついていけなくても、教室にじっと坐っていなければなりません。そんな訳ですから、ときどき子どもが教室から飛び出てくるのも、もっともなことなのです。学校は子ども１人ひとりの学力や習熟度に合わせて教育をしていないので、子どもの学力に合った補習をしてくれる塾が繁栄し、他方でストレスが溜まった子どもが登校や教室を拒否するという状態が続くのです。

子どもの習熟度の違いはやむを得ないことです。100 人 100 様です。それを一把ひとからげにして対応しようとするから、子どもは情緒が不安定になるのです。「勉強しなさい、静かに坐りなさい」と追い打ちをかけても何の効果も生まれません。

家庭での養育で参考になりそうなヒントをいくつか述べてみます。

1)　**保護者自らが勉強したり本を読んだりする姿を子どもに見せましょう。**保護者自身が子どもの手本となりましょう。子どもには、なにを勉強したり、どんな本を読んでいるかを伝えましょう。そして本の内容を子どもに説明してやるのです。読書が好きな子どもは学力が高くなるのは間違いありません。

2)　**毎日学校で学んだことを子どもに語らせる時間を持ちましょう。**例えば夕食時、風呂に一緒に入るときが大事です。子どもが語るのをじっくり待ち、決して急かしてはいけません。

3)　**子どもが「イエス、ノー」で答えるような質問は避けましょう。**

・悪い例　「宿題終わった？」　「うん」
・良い例　「宿題のどこが難しかった？」「繰り上がりのところ」「良くがんばったね、、」

「お母さんも繰り上がりは苦手だったのよ、、」などと反応し、子どもと共感しあうことです。「何回も練習するとわかるようになったのよ」と保護者自身の体験を子どもと分かち合いましょう。

私の３人の子どもはウィスコンシン州の首都であるマディソンという街の小学校で学びました。世界の 40 か国からの子どもが集まる小学校です。指導する先生はさぞかし大変だろうと思いきや、教室内で習熟度に合わせてグループ化して指導しています。クラスのサイズは 25 人以下です。誰も塾に通うような子はいません。マディソンには塾などはありません。勉強に遅れのある子には学校が対応するのです。

保護者は子どもの担任の先生を選ぶことができました。校長に対して、「スミス先生に担任をお願いします」という具合です。大抵は希望どおりに先生をつけてくれます。私も、周りの人からスミス先生は指導が丁寧であると聞いていたので、３人の子ども全員が彼女から指導を受けることができました。教師と子どもの相性はあるものです。スクールカウンセラーなどは教師と子どもの仲立ちをする役割もあるはずなのですが、、、一学級の子どもが多いことも今の学校の大きな課題です。